

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2023年6月1日

埼玉県知事 殿

提出者

住所 千葉市美浜区ひび野1-4-3

氏名 新日本建設株式会社

代表取締役 高見 克司

電話番号 043(213)1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	新日本建設株式会社
事業場の所在地	千葉県千葉市美浜区ひび野1-4-3
事業の種類	建設業 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1169.72 t	全処理委託量	1169.72 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	1169.72 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

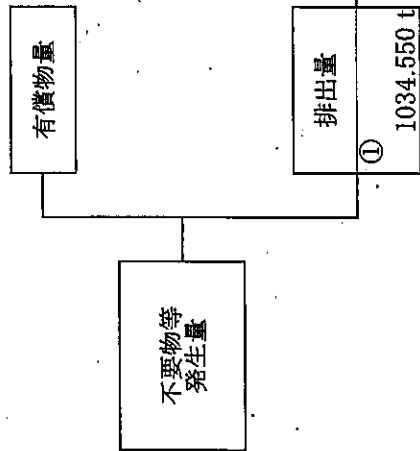


(日本工業規格 A列4番)

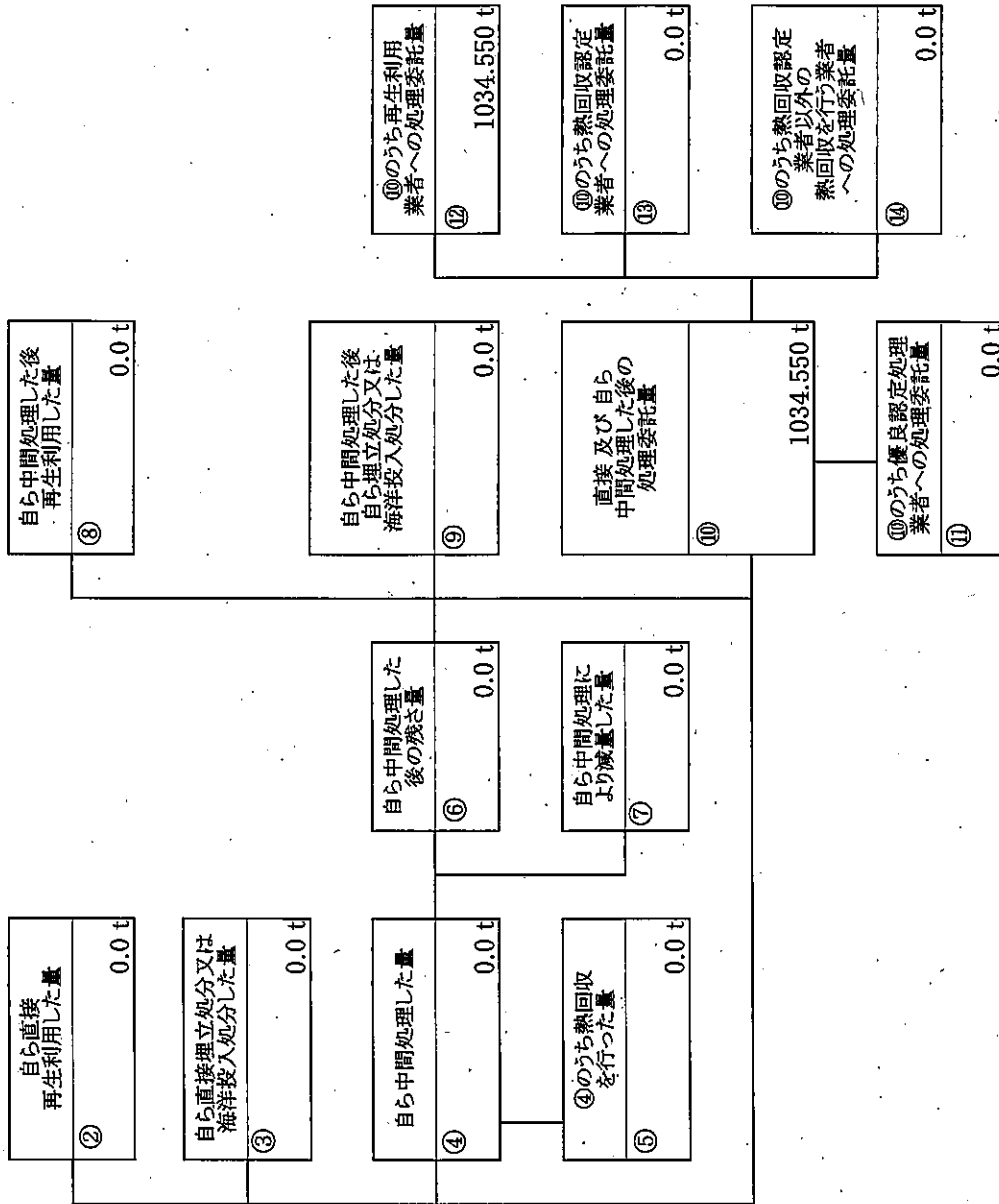
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

建設汚泥

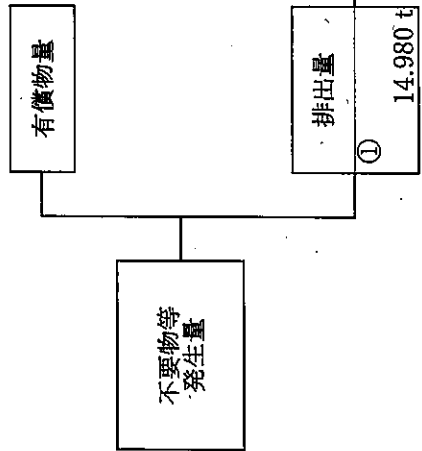


項目	実績値
①排出量	1034.550 t
②+③自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	1034.550 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1034.550 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



②	自ら直接再生利用した量	0.0 t
---	-------------	-------

③	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0.0 t
---	---------------------	-------

④	自ら中間処理した量	0.0 t
---	-----------	-------

⑤	④のうち熱回収を行った量	0.0 t
---	--------------	-------

⑥	自ら中間処理した後の残さ量	0.0 t
---	---------------	-------

⑦	自ら中間処理により減量した量	0.0 t
---	----------------	-------

⑧	自ら中間処理した後に再生利用した量	0.0 t
---	-------------------	-------

⑨	自ら中間処理した後に自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0.0 t
---	-----------------------------	-------

⑩	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	14,980 t
---	---------------------	----------

⑪	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
---	---------------------	-------

⑫	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	14,980 t
---	-------------------	----------

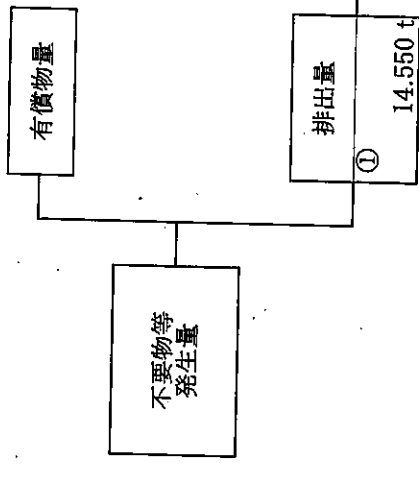
⑬	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
---	--------------------	-------

⑭	⑩のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	0.0 t
---	-------------------------	-------

項目	実績値
①排出量	14,980 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
③自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	14,980 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t
⑫再生利用業者への処理委託量	14,980 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t
⑭熱回収認定業者以外の処理委託量	0.000 t

計画の実施状況

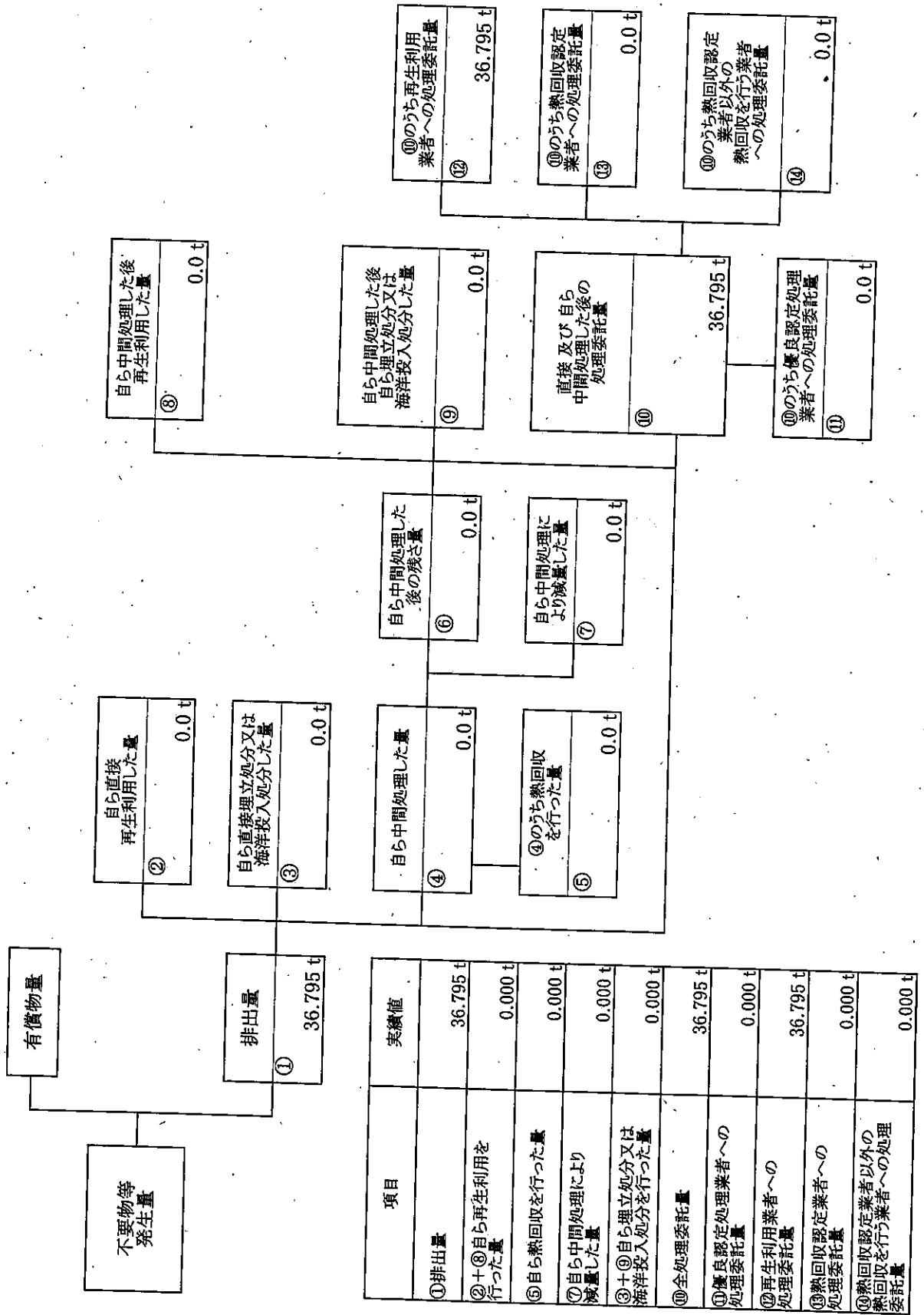
(産業廃棄物の種類: 紙くず)



項目	実績値
①排出量	14,550 t
②+④自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	14,550 t
⑩優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t
⑩再生利用業者への処理委託量	14,550 t
⑩熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t
⑩熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

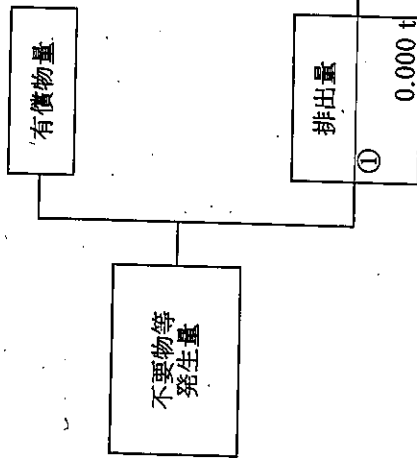


項目	実績値
①排出量	36.795 t
②+③自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	36.795 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t
⑬再生利用業者への処理委託量	36.795 t
⑭熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t
⑫熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	0.000 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

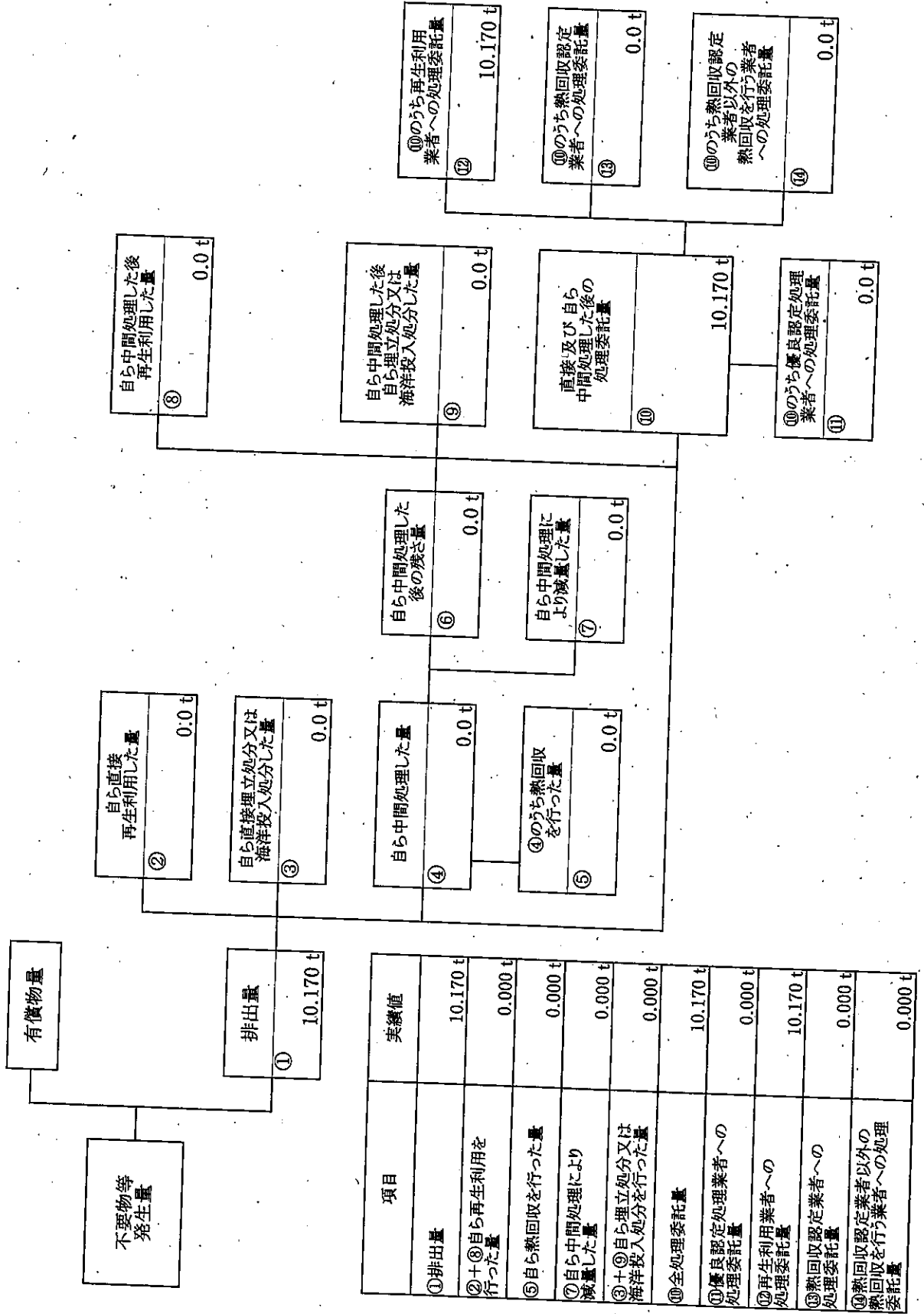
繊維くず)



項目	実績値
①排出量	0.000 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	0.000 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

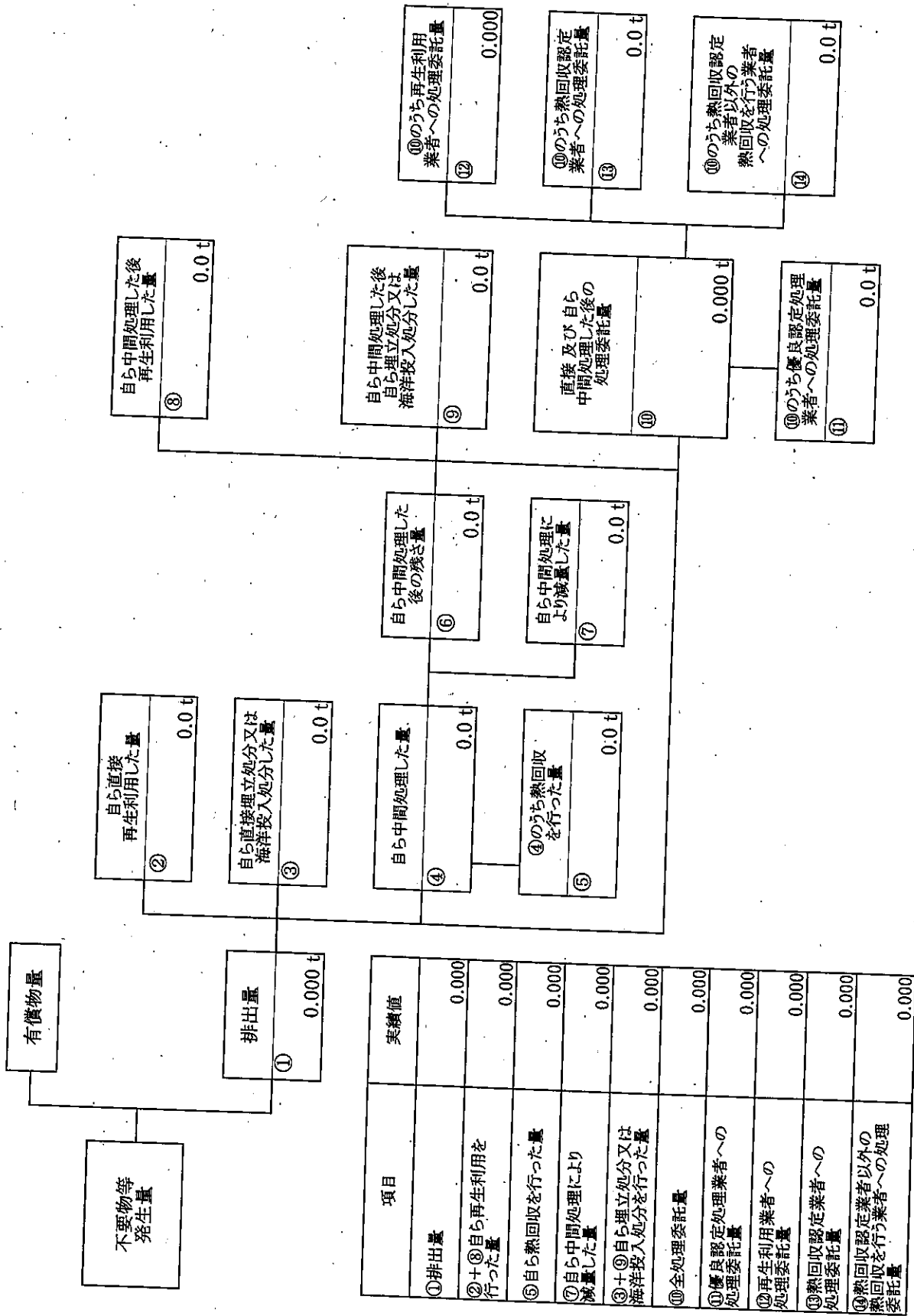


項目	実績値
①排出量	10.170 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	10.170 t
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t
⑫再生利用業者への処理委託量	10.170 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t
⑭熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

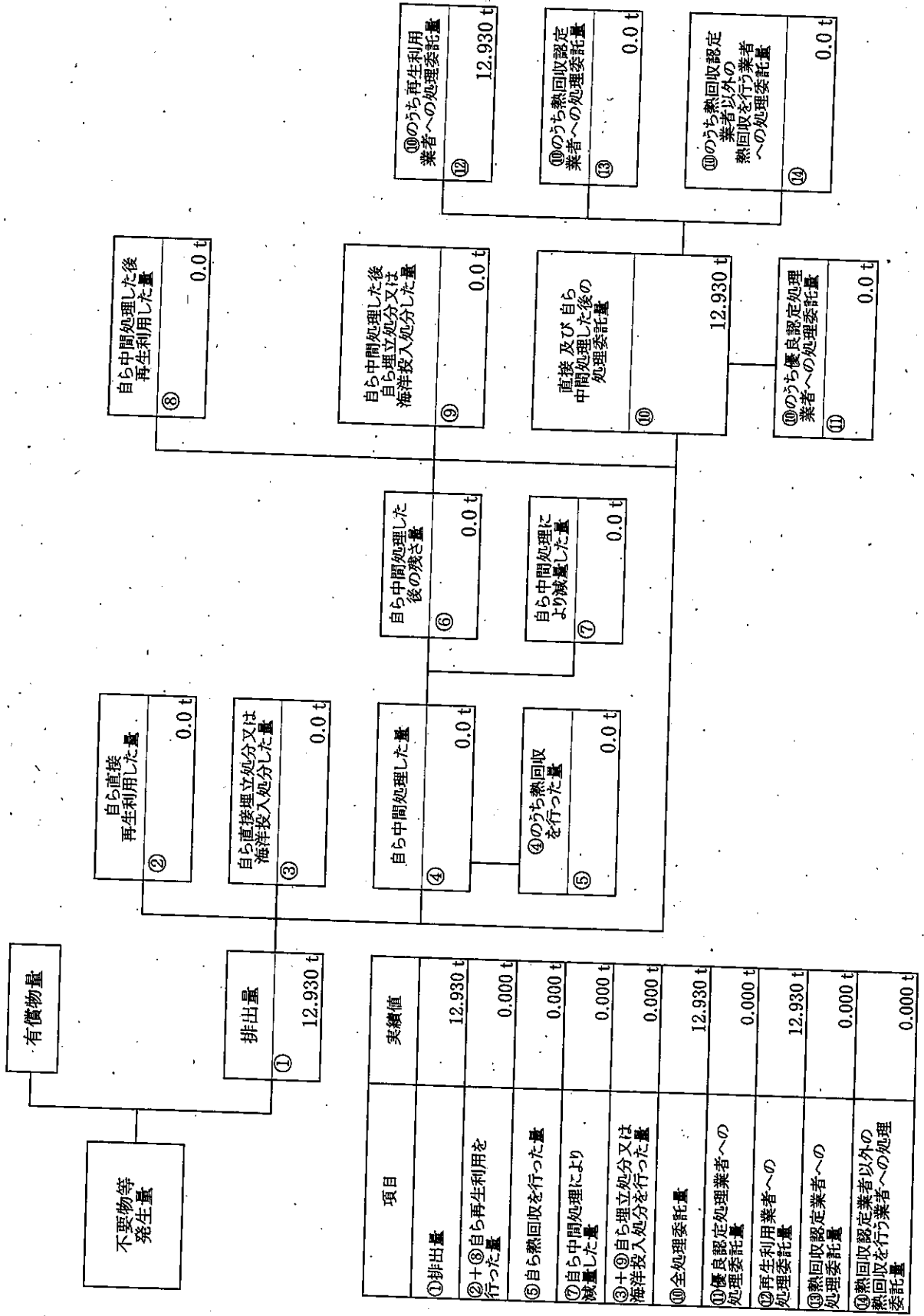
ガラス・コンクリート・陶磁器くず)





計画の実施状況

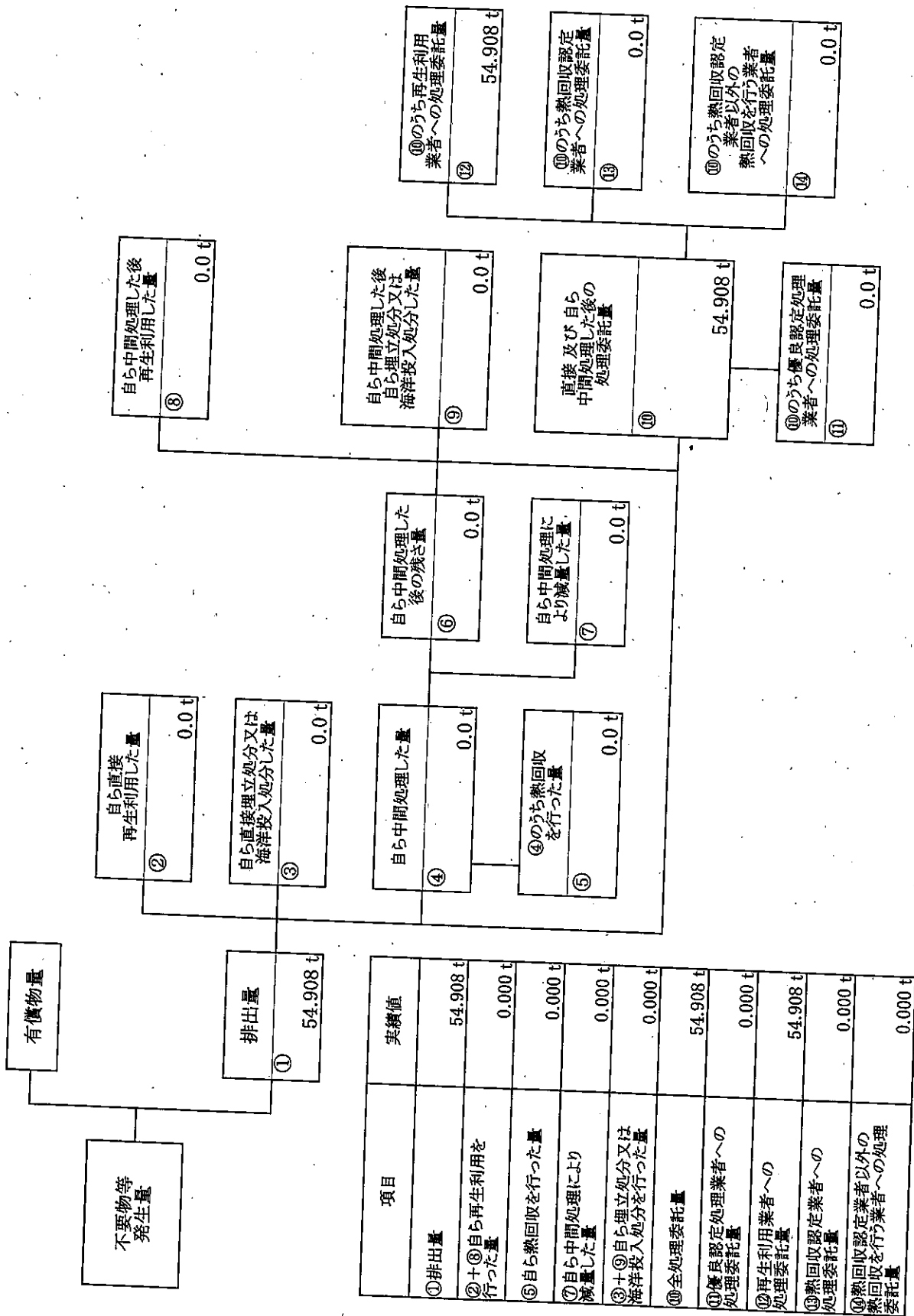
(産業廃棄物の種類: 廃石膏ボード)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: )

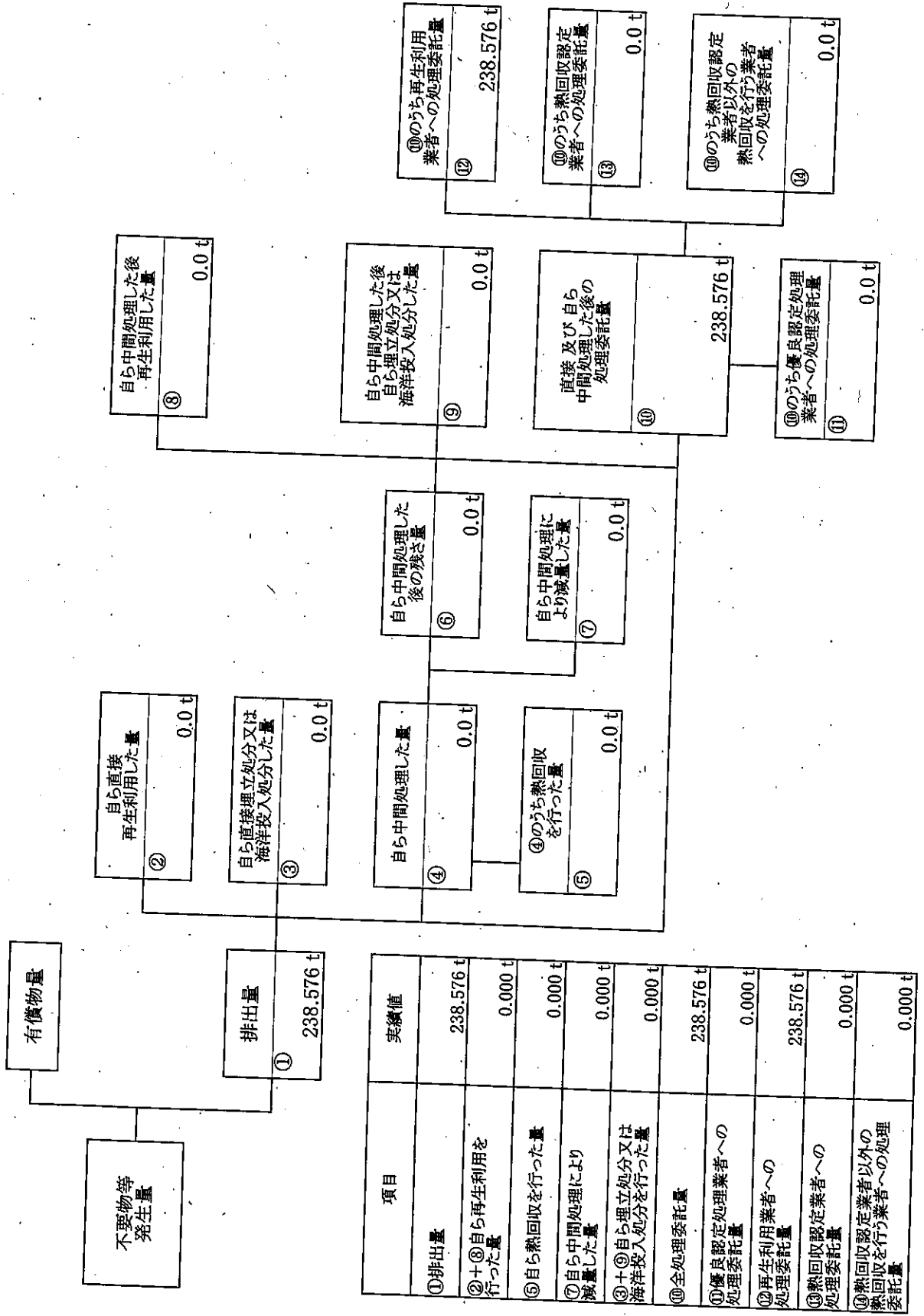
がれき類



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

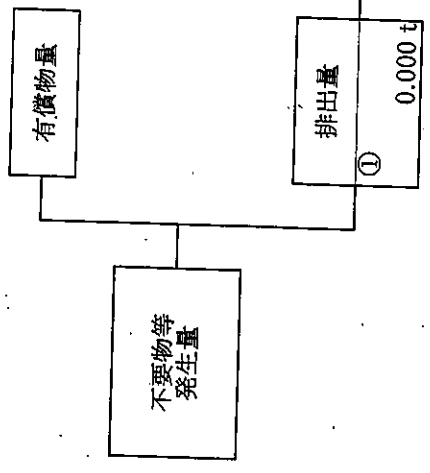
コンクリートがら



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: )

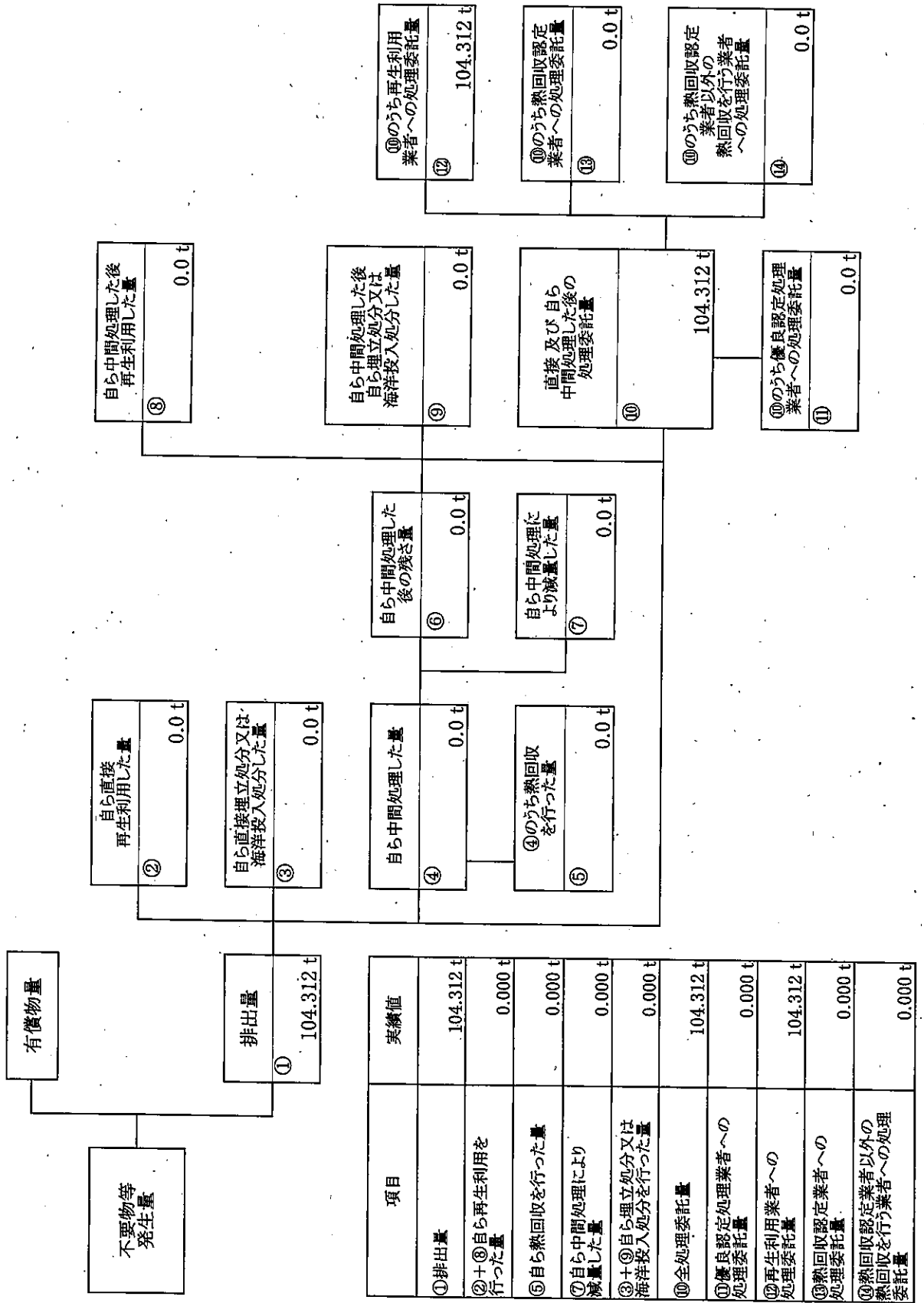
アスコンから



項目	実績値
①排出量	0.000 t
②+③自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③+④+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	0.000 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t
⑭熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	0.000 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)

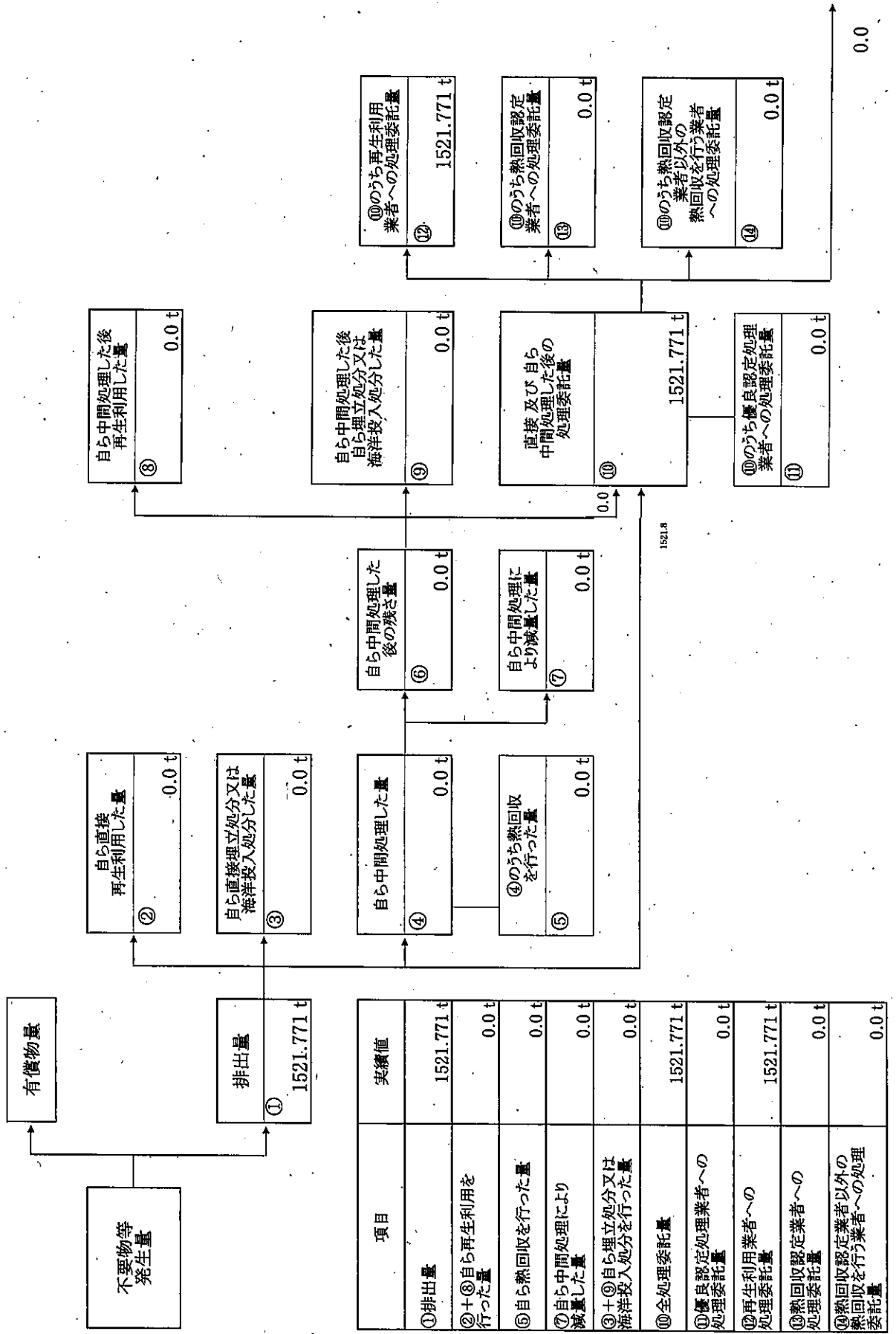


計画の実施状況 (合計)

(産業廃棄物処理の合計)

自動計算

印刷・提出は、不要です。



0.0

事業場の名称	新日本建設株式会社
事業場の所在地	千葉県千葉市美浜区ひび野1-4
事業の種類	建設業 総合工事業
事業の期間	令和 4年 4月 1日 ~ 令和 4年 4月 30日

総括表は、自動入力されますので、入力作業は不要です。  
 総括表は排出事業者側の確認用シートです。印刷や提出は不要です。

産業廃棄物処理計画における目標値 (昨年提出した処理計画書に記載した、昨年度1年間の処理計画量)

項目	昨年提出した処理計画書に記載した目標値
排出量	1169.7t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0
自ら燃回を行う産業廃棄物の量	0.0
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0
自ら燃立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0
全処理委託量	1169.7t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0
再生利用業者への処理委託量	1169.7t
認定燃回業者への処理委託量	0.0
認定燃回業者以外の燃回取を行う業者への処理委託量	0.0

昨年度1年間の処理実績書

項目	建設汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	石膏	石膏ボード	がれき類	コンクリート	アスコン	アスコンから	合計
排出量	1034.6	14.6	36.8	0.0	10.2	0.0	12.9	54.9	238.6	0.0	104.3	1521.771
① 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000
②+③ 自ら燃回を行う産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000
④ 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000
⑤ 自ら燃立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000
⑥+⑦ 全処理委託量	1034.6	14.6	36.8	0.0	10.2	0.0	12.9	54.9	238.6	0.0	104.3	1521.771
⑧ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000
⑨ 再生利用業者への処理委託量	1034.6	14.6	36.8	0.0	10.2	0.0	12.9	54.9	238.6	0.0	104.3	1521.771
⑩ 認定燃回業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000
⑪ 認定燃回業者以外の燃回取を行う業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000

脚注事項： 第2面Sheetを11個以上記入した場合は、上記は正しく計算されません。

産業廃棄物の種類

燃え殻
建設汚泥
炭灰
灰
腐アルカリ
腐プラスチック類
ゴムくず
金属くず
プラスチック類
紙くず
がれき類(石類等)
ばいじん
木くず
繊維くず
動物系固形不燃物
動物系固形燃物
動物のふん尿
動物の死体
石膏類
建設資材類
繊維類
その他固形不燃物
腐石膏ボード
コンクリートから
アスコンから

備考

産 翌年度の6月30日までに提出すること。

- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。